モロッコ経済日誌 2013年2月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①モロッコ経済成長率 2012年概算値および2013年予測値(モロッコ高等計画委員会)¹

6日、モロッコ高等計画委員会(HCP)は、経済成長率の2012年概算値および2013年予測値を発表した。2012年の実質経済成長率は2011年の5.0%から減少し2.7%となる見込み。2012年のモロッコ経済を纏めると、穀物収穫高は510万トンと芳しくなかったが、世界経済が低迷する中で非農業分野は4.8%と高い成長率を維持した。

一方、2013年は穀物収穫高が700万トンとの予測で農業分野の成長率がプラスとなり、外需および内需とも拡大すると見られ、実質経済成長率は4.8%になると予測されている。

海外直接投資(FDI)は、2011年には前年比26.9%減少したが、2012年には14%増加となる見込み。

	実質経済成長率	第一次産業 (農水業分野) 付加価値成長率	非農業分野 付加価値成長率	インフレ率 (GDPデフレーター)
2011年	5.0%	5.1%	5.3%	0.1%
2012年	2.7%	- 8.7%	4.8%	1.3%
2013年(予測)	4.8%	6.1%	4.6%	2.0%

(2012年は概算値、2013年は予測値)

②ムーディーズ社によるモロッコソブリン債見通しの下方修正²

11日、ムーディーズ社はモロッコのソブリン債の格付けを「Ba1」と維持しながらも見通しについては「安定的」から「ネガティブ」へ下方修正した。

同社はモロッコの財政赤字が増加傾向にあり、2012年はGDP比7.1%に達したにも関わらず、エネルギー、小麦粉などに充当されている補助金制度を継続する見込みであることや高止まりしている経常赤字等に基づいて、今回の下方修正に至ったとコメントした。

③国際通貨基金(IMF)の予防的流動性枠承認の継続³

2012年8月、IMFはモロッコに対し、62億ドルの「予防的流動性枠」を承認したが、4日、第一次査定の結果、同枠を継続することを決定した。この額はモロッコと同基金への分担金の700%

¹ モロッコ高等計画委員会プレスリリース(Haut Commissariat au Plan) : www.hcp.ma, エコノマップ(2月11日)

² エコノミスト(2月13日), Moody's ホームページ(2月11日)

³ エコノマップ(2月6日), IMF ホームページ(2月4日)

にあたり、2年間の措置として、必要が生じた場合にのみ借り入れが行われるもので、1年目は約36億ドル(分担金400%)まで、2年目には全額の借り入れが可能となる。

(当館注:「予防的流動性枠」は、欧州財政危機の影響が新興国等に波及した場合を想定し、経済は堅調であっても短期の資金確保の必要性が生じた国を当該国の政策変更を要求することなしに支援するもの。)

2. 建設・公共事業・インフラ等

(特になし)

3. 農業・漁業

(特になし)

4. 産業・エネルギー

①カナダ航空機製造ボンバルディア社の工場が一部稼働開始⁴

7日、カナダの航空機製造会社であるボンバルディア・エアロスペースが Nouaceur の工場においてCRJシリーズ向け飛行機部品の製造を開始した。同工場では航空分野職業訓練所卒業生18名を受け入れたが、2013年末までにさらに約150名の卒業生を受け入れる。

なお、ボンバルディアの投資額は5年間で2億ドル。2020年までに直接雇用数850名、間接雇用数4000名となる予定。同社は2011年11月にモロッコ進出を決定していた。

②第三回国家産業会合の開催⁵

20日、タンジェにて、モハメッド6世国王臨席の下、第三回国家産業会合が開催され、2009年に策定された産業振興のためのプログラム(PNEI: Pacte National pour l'Emergence Industrielle)の中間レビューが行われた。約1,500名が参加し、モロッコが強みを有する自動車、航空、エレクトロニクス、食品加工、織物、皮革およびオフショアリング分野を中心に、中小企業育成、ビジネス環境改善、人材育成、産業プラットフォーム開発等の計画が話し合われた。また、投資に関する専門会合では、再生可能エネルギー、リン鉱石、自動車等について議論された。

③矢崎総業のメクネス新工場まもなく建設開始・国王に謁見⁶

自動車用ワイヤーハーネス製造会社の矢崎総業は、タンジェ工場(雇用数約3600名)、ケニトラ工場(約3200名)に次いで第三の工場となるメクネス新工場(約2500名～4000名を雇用予定)の建設工事をまもなく開始する。稼働開始は2014年の予定で投資額は2000万ユーロ。

⁴ エコノマップ(2月5日)、エコノミスト(2月11日)

⁵ 各紙報道(2月20日、21日)

⁶ エコノミスト(2月19日)、経済日誌(2012年5月)参照、ル・マタン(2月21日)

2012年のタンジェ工場の売上高は1億5000万ユーロ、ケニトラ工場は1億ユーロ。2013年は全体で5%の成長を目指す。

また、20日、タンジェにて矢崎総業ヨーロッパHorst Rudolph社長と矢崎総業ヨーロッパ吉澤正章会長がモハメッド6世国王に謁見した。ベンキラン首相、アマラ商工業・新技術大臣も同席した。また、Horst Rudolph社長は国王よりアラウィ章第三等勲章(オフィシエ)を授与された。(当館注:モハメッド6世国王が民間企業人から謁見を受けるのは希で、直近では2012年9月にボンバルディア社Guy Hachey社長が謁見。また、2011年には、住友電装の親会社である住友電工の松本社長が勲章を授与されている。)

④太陽エネルギー湯沸かし器の拡張計画⁷

再生可能エネルギー開発・エネルギー効率化庁(ADEREE: Agence nationale pour le développement des énergie renouvelables et l'efficacité énergétique) は一般住宅を含む国内全土における太陽エネルギー湯沸かし器普及促進のための「Shemsi プログラム」を打ち出した。

太陽エネルギー湯沸かし器用の集光熱部総面積の目標値(2020年まで):170万m²(現在35万m²)。

⑤アフリカ最大級の風力発電所Tarfaya発電所建設の発表⁸

7日、フランス GDF Suez とモロッコ Nareva 社からなる Tarfaya Energy Company(TAREC)合弁会社は正式に Tarfaya 風力発電所建設計画の骨格を明らかにした。BOT方式でモロッコ電力・水道公社(ONEE)とは20年間の売電契約。タービンはシーメンスが納入。施工はモロッコ Somagec 社に委託。

- ・発電能力: 300MW(アフリカ最大級, モロッコ風力発電能力の5分の2に相当)
- ・プロジェクト総投資額: 5億ユーロ(Attijariwafa 銀行, モロッコ中央人民銀行(BCP), モロッコ貿易銀行(BMCE)が計3.6億ユーロを借款)
- ・稼働開始時期:2014年末
- ・年間の二酸化炭素削減量:90万トン

⑥SNIによる中央乳業およびBimo製菓株の売却完了⁹

22日、SNI(Societe National d'Investissement)は、中央乳業の株61億DH分の仏ダノンへの売却による経営権の放棄および Bimo 製菓の株13億DH分の Mondelz International(元クラフトフーズ)への売却による資本参加の中止が完了した旨発表した。同発表によると、この売却によりモロッコは外貨9億米ドルを取得した。現在、SNI は経営の合理化を行っている。

⁷ オジドゥイ・ル・マロク(2月15日-17日)

⁸ ル・マダン(2月8日), エコノマップ(2月8日), ロイター通信(2月7日)

⁹ ル・マダン(2月23-24日)

⑦OCPのイスラム開発銀行からの借款¹⁰

27日、OCPはイスラム開発銀行から1億5千万米ドルの借款を受ける合意文書に署名した。本資金はジオルフ・ラスファー港インフラの拡張と補修に当てられる。El Hajjouji 専務取締役は、OCPはリン鉱石の生産量を2倍、肥料と化学製品の製造量を3倍にする計画を有しており、同港は将来の輸出のために重要である旨述べた。イスラム開発銀行がモロッコにおいて国の保証がない借款を行う初のケースとなる。

⑧電力水道公社(ONEE)による支払遅延¹¹

ONEEからの電気分野における納入業者への支払いが、確認されている限り2011年以降、遅延している。遅延の総額は50億DHを超えている模様(ONEEは否定)。影響を受けている企業は少なくとも22社にのぼる。

5. その他

①2012年交通事故数(暫定値)¹²

モロッコの交通事故死者数が4000名を突破。統計では交通事故の80%が交通ルール違反によるもの。設備運輸省の調べによると、運転する人の94%が一時停止の道路標識を守らず、28%がシートベルト着用の義務を怠っているという結果が出た。

	事故件数	死亡者数	重傷(人数)	軽傷(人数)
2009年	68,007	4,035	12,342	90,103
2010年	65,461	3,778	11,414	87,058
2011年	67,082	4,222	12,482	89,529
2012年	67,517	4,055	11,791	89,317

(当館注:日本は、警察庁交通局の統計によると、2012年の交通事故件数は66万4907件で24時間以内の死亡者数は4411名。)

②模倣品のモロッコ経済への影響に関する調査結果¹³

13日、商工業・新技術省による模倣品がモロッコ経済に与える影響に関する調査の結果が公表された。国家知財・模倣品対策委員会(CONPIAC)が産業・商業財産庁(OMPIC)、企業総同盟(CGEM、モロッコの経団連)、税関当局、王宮憲兵隊、警察及び商業裁判所と共同して調査を実施した。

調査結果によると、モロッコで流通している模倣品は主に東南アジアや、特に中国で偽造されたものであり、多くはエジプト、ア首連やトルコを経由してウジダーナドル、タンジェーテトゥアン、カサブランカ、アガディール等から流入している。

¹⁰ エコノミスト(2月28日)、Les ECO(2月28日)

¹¹ エコノミスト(2月25日)

¹² 経済日誌(2012年2月、9月)参照。エコノミスト(2月19日)、オジドゥイ・ル・マロック(2月18日)

¹³ ル・マタン(2月15日)、オジドゥイ・ル・マロック(2月15日-17日)

また、模倣品の種類には布・革製品をはじめとして電気製品、自動車用交換部品、衛生用品、化粧品等が含まれ、これら模倣品の総額は60～120億DH(GDPの0.7～1.3%に相当)に達し、模倣品により年間10億DHの損害、直接・間接的に3万人の雇用損失に繋がっている。

③カサブランカのショッピングセンターAnfa Placeがオープン¹⁴

7日、カサブランカの海岸沿いに位置するショッピングセンターAnfa Place がオープンした。敷地は3.6haで、80店舗が徐々にオープンする予定であり、3000人の雇用創出が見込まれている。投資額は8億2900万DH。

なお、同ショッピングセンターは Anfa Place 複合施設の一部でホテルなどの完成は2014年を予定。

¹⁴ ル・マタン(2月4日), エコノマップ(2月11日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①モロッコ-EU包括的FTAの交渉開始¹⁵

28日、ラバトを訪問したバローゾ欧州委員長はベンキラン首相等と面談し、モロッコ-EU包括的FTAの締結に向けた交渉開始を宣言した。同条約は、商業やサービスの自由化、投資保護や様々な分野における規制の調和等を目標とするもの。

なお、モロッコとEUの関係では、両者間の農業パートナーシップ協定が昨年10月に発効し、複数品目における関税撤廃、輸出上限枠の拡大等が実現しており、漁業協定については現在交渉中。

また、バローゾ委員長とベンキラン首相は、EUによるモロッコの人間開発に係るイニシアティブ(I NDH)に対する2013年から2015年までの2千5百万ユーロの支援に関する覚書に署名した。

2. 経済協力

①GCC諸国による財政支援¹⁶

GCC・モロッコ間戦略的パートナーシップの枠組みでサウジアラビア、カタール、ア首連、クウェートの4カ国がモロッコに対して、50億ドルの財政支援で合意し、各国が5年間で12億5千万米ドルを拠出することとなっている。この枠組みにおいて、12日、サウジアラビア開発基金からの4億ドルの送金に関する合意文書がリアドにて署名され、21日にはクウェートによる12.5億ドルの支援0に関する合意文書がラバトにて署名された。

②日本政府による無償資金協力¹⁷

13日、カサブランカにて、日本政府による3千万DH相当の機材の無償供与のための引渡式が行われた。土木用重機、車椅子、マンモグラフ用デジタル化装置、液体クロマトグラフがモロッコに対して供与された。

③2013年の韓国国際開発機構(KOICA)による技術協力¹⁸

2013年の韓国国際開発機構(KOICA)によるモロッコに対する技術協力枠予算は508万ドルとなった。

主に以下の枠組みで支援:

- ・プロジェクトベースでの支援(自動車分野職業訓練所、貿易分野能力向上、太陽エネルギー開発研究)
- ・モロッコ人公務員(58名)に対する研修

¹⁵ ル・マタン(3月2-3日), Les ECO(3月4日)

¹⁶ オジョドゥイ・ル・マロク(2月5日), エコノミスト(2月13日, 25日)

¹⁷ エコノマップ(2月14日)

¹⁸ エコノマップ(2月13日)

- ・協力隊員(現在52名)を通しての技術協力

④世界銀行の借款¹⁹

14日,世界銀行はモロッコに対して「ゴミ管理改革」に向けた1億3000万ドルの借款を承認した。

⑤アラブ経済社会開発基金(FADES)の借款²⁰

1月31日,アラブ経済社会開発基金はテトゥアンにおける飲料水普及に向けた2億500万DHの借款を承認した。

⑥イスラム開発銀行の借款²¹

以下の案件にイスラム開発銀行が借款。

- ・El Mendel-Mdez 揚水発電(170MW): 17億DHの借款
- ・飲料水普及(8カ所): 7億2000万DHの借款:

3. その他

(特になし)

¹⁹ エコノマップ(2月18日), オジヨドワイ・ル・マロック(2月19日)

²⁰ エコノマップ(2月1日)

²¹ Au fait(2月6日)